

6. むすび

令和元年度においては、7年計画の最終年として、地域連携減災研究（サブテーマ1）、巨大地震発生域調査観測研究（調査観測分野 サブテーマ2-1）及び巨大地震発生域調査観測研究（シミュレーション分野 サブテーマ2-2）の各テーマにおいて研究計画に沿った研究を着実に進めてきた。

これら成果は、地域研究会等の場を通じて自治体、地元ライフライン企業、地元大学、経済界、地方支分部局等との連携を進めながら、各地域の特性等に照らした防災・減災対策に資する還元を行った。また成果報告会を通じた啓発活動も実施し、成果の一般への啓発を行った。

これら成果が南海トラフ地震の被害軽減や、今後の地震津波研究の進展に大きく貢献するものと期待する。